(ver. 2017)

（西暦）　2026　年 9 月　16 日

脆弱性骨折術後の骨粗鬆症治療継続するのため当院に入院･通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

高齢者の脆弱性骨折は、その後１年以内に亡くなる割合が高いことがわかっており、一度骨折した人は再び別の部位を骨折してしまう二次骨折を起こしやすいことも知られています。二次骨折を防ぐことは、高齢者の生活の質を守るうえでは非常に重要です。そこで骨折後できるだけ早い段階で治療開始や患者指導を行うことで、治療継続ができ再骨折を防げるかを明らかにすることです。

対象

臨床研究審査委員会の承認取得日より 2029 年 3 月 31 日までの間に、整形外科にて脆弱性骨折の術後の骨粗鬆症治療開始のため通院し、当科へ入院をした方

【試料・診療情報等の項目】

試料を用いることはありません

診療情報等：年齢、体重、家族構成、入院時主病名、転倒歴、早期骨折の有無、再骨折部位、骨密度の値、アルブミン値、血清 25（OH）D 濃度の比較、

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、6AB 病棟までご連絡をお願いします。

研究課題名

脆弱性骨折患者による再骨折予防～FLS チーム介入の効果～

研究内容

再骨折原因を分類しその割合を算出します

【方法を記載】

(1)本研究対象者は、当院の整形外科手術を受ける患者であり、個別に同意を習得して研究を行うことができいなため、本研究に関する情報をホームページ上で公開する。

(2)該当する患者を対象者として登録し、下記の情報を診療から取得する。

〔取得する情報〕

病歴、診断名、既往歴、年齢、性別、体重、家族構成、血液検査データー、治療薬剤、既往歴
骨粗鬆症治療開始日、再来日、骨粗鬆症治療継続の有無

(3)調査経過の集計・分析により、脆弱性骨折に対する骨粗鬆症治療効果、FLS チーム介入による治療継続の有無について検討し、再骨折を防げる体制を確立することを目的とする。

個人情報の管理について

1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。

2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

院長承認日～　2029 年　3 月　31 日（予定）

医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により再骨折率が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会　浜の町病院　整形外科

【当院での研究責任者】所属　6AB　職名　看護師長　氏名　松村　知須恵

【利用する者の範囲】

所属　6AB　職名　看護師　氏名　土生　彩乃
所属　整形外科　職名　医師　氏名　萩尾　聡
所属　整形外科　職名　部長　氏名　馬渡　太郎

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

氏名：松村知須恵　所属：6AB 病棟　連絡先：092-721-0831（代表）

以上